東宝

TOHO IR Report

上半期の業績は過去最高の売上・利益を達成

株主の皆様には、
平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに株主通信をお届けし、第129期中間期における
当社グループの事業状況ならびに
今後の取り組みなどについてご報告いたします。

代表取締役社長
島谷能成

この上半期を振り返って

当社グループの第129期上半期業績は、営業収入が1,392億9千7百万円（前年同四半期比21.1%増）、営業利益322億7千4百万円（同32.3%増）、経常利益332億8千8百万円（同32.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益228億7千5百万円（同37.9%増）といずれも過去最高となる、高い業績成果を収めることが出来ました。

主力の映画事業において、『名探偵コナン から紅の恋歌（ラブレター）』『映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険』がシリーズ最高記録を更新する好成績となりました。夏休み興行では当社幹事作品の『君の膵臓をたべたい』や、『劇場版ポケットモンスター キミにきめた!』『メアリと魔女の花』が興行収入30億円を超えるなどヒットを記録しました。東宝東和㈱配給の洋画作品も『SING／シング』『ワイルド・スピード ICE BREAK』の大ヒットに加えて『怪盗グルーのミニオン大脱走』が興行収入70億円を超える夏休み興行作品No.1ヒットとなりました。上記以外にも、『美女と野獣』（ウォルト・ディズニー）が興行収入120億円を超えるメガヒットとなるなど、全国に展開するTOHOシネマズが高稼働いたしました。

また、前期に公開し共に大ヒットを記録した『シン・ゴジラ』『君の名は。』のパッケージ・ソフトの販売が、今上半期の業績に大きく貢献いたしました。

演劇事業においては、帝国劇場で『Endless SHOCK』や日本初演30周年となる『レ・ミゼラブル』が大盛況となり、シアタークリエでも『キューティ・ブロンド』等が好成績となりました。

不動産事業においては、スバル興業㈱が手掛ける道路事業が好調に推移した他、3月に東宝不動産㈱を吸収合併し、業務効率化・シナジー効果を発揮すべく組織基盤の強化に努めました。

第129期通期の見通しについて

第129期は、「TOHO VISION 2018 東宝グループ 中期経営戦略」の最終年度に当たります。

上半期を順調に折り返すことが出来ましたが、下半期も手綱を緩めることなく、総仕上げの1年とすべく通期での業績向上に向けて取り組んでまいります。

映画事業においては、11月17日（金）には当社の最重要キャラクターであるゴジラの新たなる展開として、初のアニメーション映画『GODZILLA 怪獣惑星』を公開いたします。これまでのどの“ゴジラ”とも異なる未来世界を舞台に、2万年もの間地球に君臨し続けてきたゴジラと、それに対峙する人類の因縁の物語を描く全3部作です。日本有数のクリエイター陣が挑む、誰も見たことのない新しい“ゴジラ”の始まりにどうぞご期待ください。

その他、芥川賞受賞のベストセラー小説の映画化『火花』、『ALWAYS 三丁目の夕日』製作チームが再結集した『DESTINY 鎌倉ものがたり』、人気アニメーション『映画 妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活』等の話題作を提供いたします。

演劇事業では、松任谷由実さんの歌と豪華俳優陣が繰り広げる新感覚エンターテインメント『朝陽の中で微笑んで』や、日本初演から50年、今なお愛され続ける感動作『屋根の上のヴァイオリン弾き』等、幅広いお客様に楽しんでいただけるラインナップで皆様のご期待に応えられるよう努めてまいります。

なお、第129期の通期業績は、営業収入2,353億円、営業利益450億円、経常利益469億円、親会社株主に帰属する当期純利益322億円と予想しております。

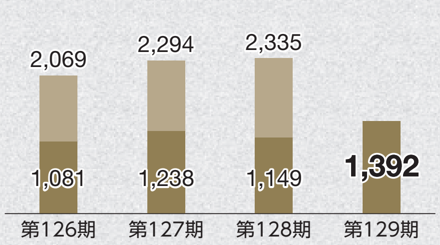
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

Financial Highlights 連結財務ハイライト

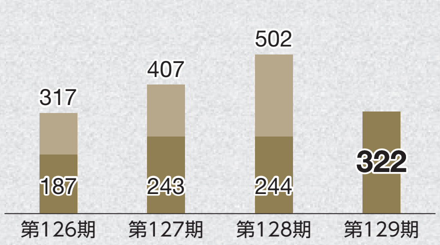
より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。
アドレスはこちら≫https://www.toho.co.jp/company/ir/

営業収入	1,392億円（前年同四半期比21.1%増）
営業利益	322億円（前年同四半期比32.3%増）
経常利益	332億円（前年同四半期比32.9%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	228億円（前年同四半期比37.9%増）

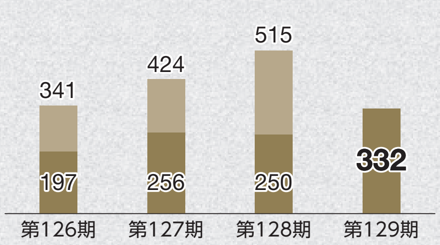
≫営業収入（億円）



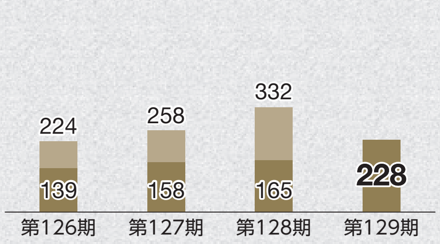
≫営業利益（億円）



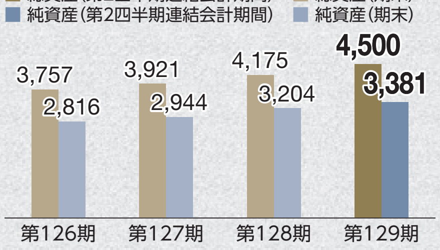
≫経常利益（億円）



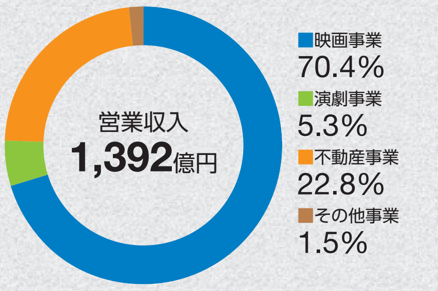
≫親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益（億円）



≫総資産/純資産（億円）



≫事業部門別営業収入構成比



Cinema Business 映画事業

「名探偵コナン から紅の恋歌（ラブレター）」©2017 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会

「映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険」
©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2017

「君の膵臓をたべたい」
©2017「君の膵臓をたべたい」製作委員会
©住野よる/双葉社

「打ち上げ花火、下から見るか?横から見るか?」
©2017「打ち上げ花火、下から見るか?横から見るか?」製作委員会

「関ヶ原」
©2017「関ヶ原」製作委員会

「SING／シング」
© Universal Studios.

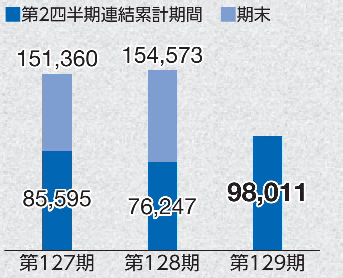
「ワイルド・スピード ICE BREAK」
© Universal Studios.

「怪盗グルーのミニオン大脱走」
© Universal Studios.

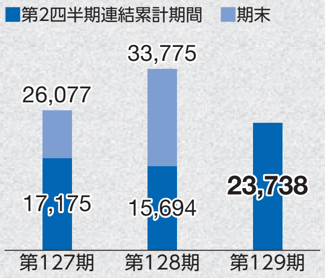
当第2四半期の取り組みと実績

- 映画営業事業では、『名探偵コナン から紅の恋歌（ラブレター）』が興行収入68億円を超えシリーズ最高記録を更新、『映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険』も興行収入44億円を超え新シリーズでの記録となりました。両作品共2年連続で新記録を更新し、業績に好影響をもたらしました。
  東宝東和㈱配給作品では、『SING／シング』が興行収入50億円を、『ワイルド・スピード ICE BREAK』が興行収入40億円を超え期待を上回るヒットを記録しました。とりわけ人気シリーズ第3弾の『怪盗グルーのミニオン大脱走』が興行収入70億円を超える大ヒットを記録し、夏休み公開作品中No.1ヒットとなりました。
- 映画興行事業では、当社グループ配給作品のほか『美女と野獣』（ウォルト・ディズニー）が興行収入120億円を超えるメガヒットとなり、GW興行を大きく牽引しただけでなく、上半期公開作品のNo.1ヒットとなりました。また『モアナと伝説の海』『パイレーツ・オブ・カリビアン／最後の海賊』（共にウォルト・ディズニー）等が興行収入50億円を超える大ヒットを記録しました。
- 映像事業では、パッケージ事業において昨年、社会現象ともなった『シン・ゴジラ』『君の名は。』がパッケージ・ソフトにおいても大ヒットし、業績を大きく牽引しました。アニメ製作事業では『名探偵コナン から紅の恋歌（ラブレター）』等に出資し、業績に貢献しました。また出版・商品事業は『美女と野獣』『忍びの国』等のパンフレットやキャラクターグッズが順調に推移いたしました。

≫営業収入（単位：百万円）



≫営業利益（単位：百万円）



≫営業収入（単位：百万円）

≫当第2四半期連結累計期間中の劇場異動

年月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
2017年3月31日	TOHOシネマズ 天神・本館	▲6	福岡県福岡市	TOHOシネマズ㈱	一部閉館

当第2四半期連結累計期間中の提供映画作品（映画営業事業） ※映像事業部配給作品を除く

- 映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険
- チア☆ダン
  ～女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話～
- 3月のライオン【前編】
- ひるなかの流星
- 映画クレヨンしんちゃん 襲来!! 宇宙人シリリ
- 名探偵コナン から紅の恋歌（ラブレター）
- 3月のライオン【後編】
- 帝一の國
- 追憶
- ちょっと今から仕事やめてくる
- 昼顔
- 忍びの国
- メアリと魔女の花
- 劇場版ポケットモンスター キミにきめた!
- 君の膵臓をたべたい
- ジョジョの奇妙な冒険
  ダイヤモンドは砕けない 第一章
- 打ち上げ花火、下から見るか?横から見るか?
- 関ヶ原

Movie Line-Up ムービーラインナップ

「火花」
©2017「火花」製作委員会

「不都合な真実2：放置された地球」
© 2017 Paramount Pictures.
All Rights Reserved.

「GODZILLA 怪獣惑星」
©2017 TOHO CO., LTD.

2018年2月期（通期）の見通し

- 映画営業事業では、当社において下記の下半期提供予定映画作品を配給する予定です。東宝東和㈱等において『バリー・シール／アメリカをはめた男』『不都合な真実2：放置された地球』などの配給を予定しており、映画営業事業収入は469億円（前年度比1.5%増）の見込みです。
- 映画興行事業では、TOHOシネマズ㈱等において当社配給作品に加え『鋼の錬金術師』（ワーナー・ブラザース）、『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』（ウォルト・ディズニー）等の大作・話題作を予定しており、映画興行事業収入は736億円（前年度比6.9%減）の見込みです。
- 映像事業では、ODS事業において昨年の『シン・ゴジラ』に続くゴジラ作品としてシリーズ3部作の第1弾となるアニメーション映画『GODZILLA 怪獣惑星』の製作・配給を予定しており、ゴジラブームをさらに大きくすべく商品化も含めて全社で盛り上げてまいります。アニメ製作事業では、新作アニメーションとして人気コミックの『宝石の国』を製作・放映、第2期となる『血界戦線 & BEYOND』『続「刀剣乱舞-花丸-」』を製作・放映するなど、引き続き新たなファン層の開拓に努めてまいります。出版・商品事業では、『スター・ウォーズ／最後のジェダイ』『映画 妖怪ウォッチ シャドウサイド 鬼王の復活』等の劇場公開作品のパンフレット、キャラクターグッズの販売拡大に努めてまいります。
  なお㈱東宝映像美術、東宝舞台㈱等、連結子会社も含めた映像事業収入は366億円（前年度比24.7%増）の見込みです。
- 以上から、映画事業収入は1,571億円（前年度比1.6%増）の見込みです。

下半期提供予定映画作品（映画営業事業） ※映像事業部配給作品を除く

- 三度目の殺人
- 奥田民生になりたいボーイと
  出会う男すべて狂わせるガール
- 亜人
- ナラタージュ
- ミックス。
- ラストレシピ ～麒麟の舌の記憶～
- 火花
- DESTINY 鎌倉ものがたり
- 映画 妖怪ウォッチ
  シャドウサイド 鬼王の復活
- 未成年だけどコドモじゃない
- 嘘を愛する女
- 祈りの幕が下りる時
- 空海―KU-KAI―

≫下半期中の劇場異動予定

年月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
2017年11月4日	TOHOシネマズ 上野	8	東京都台東区	TOHOシネマズ㈱	オープン
2017年11月24日	TOHOシネマズ 赤池	10	愛知県日進市	TOHOシネマズ㈱	オープン
2018年2月上旬	TOHOシネマズ 日劇	▲3	東京都千代田区	TOHOシネマズ㈱	閉館

New Release ニューリリース

「追憶」
主演：岡田准一×監督：降旗康男×撮影：木村大作
日本映画界の伝説と豪華俳優陣が奏でるヒューマンサスペンス
Blu-ray＆DVDは2017年11月3日（金）「ビデオの日」に発売!
©2017映画「追憶」製作委員会

「血界戦線 & BEYOND」
2015年に放送された内藤泰弘原作コミックのTVアニメ、待望の新シリーズ! MBS、TOKYO MX、BS11他にて放送中
Blu-ray&DVDは2017年12月13日（水）より順次発売!
©2017 内藤泰弘／集英社・血界戦線 & BEYOND製作委員会

「舞台『刀剣乱舞』義伝 暁の独眼竜」
2017年6月から7月にかけて上演された舞台『刀剣乱舞』シリーズ最新作
Blu-ray&DVDが絶賛発売中!
12月からは新作公演、舞台『刀剣乱舞』ジョ伝 が上演決定!
©舞台「刀剣乱舞」製作委員会

「WE ARE X」
X JAPANの封印された歴史を描く、あまりにも壮絶な真実の物語―
世界各国で絶賛された衝撃のドキュメンタリー!
2017年12月13日（水）Blu-ray&DVD発売!
©2016 PASSION PICTURES . LTD.

Theatrical Business 演劇事業

≫営業収入（単位：百万円）

■第2四半期連結累計期間 ■期末

	第2四半期連結累計期間	期末
第127期	7,078	14,978
第128期	6,654	15,586
第129期	7,447	

≫営業利益（単位：百万円）

■第2四半期連結累計期間 ■期末

	第2四半期連結累計期間	期末
第127期	1,517	3,482
第128期	1,303	3,268
第129期	1,629	

「ビューティフル」

「レ・ミゼラブル」

「RENT」

当第2四半期の取り組みと実績

- 帝国劇場では、3月の堂本光一主演『Endless SHOCK』が全日程完売の大盛況、続く4~5月『王家の紋章』の再演も連日満席となる大入りとなりました。5~7月は日本初演30周年記念公演『レ・ミゼラブル』の3か月にも及ぶロングラン公演が大盛況となり、7~8月はキャロル・キングの半生を描いた『ビューティフル』の日本版初演が高い舞台成果を収め、そのフレッシュな感性が幅広い観客層からのご支持につながりました。
- シアタークリエでは、3~4月『キューティ・ブロンド』が全公演満席の大好評となり2019年の再演が決定しました。4~6月『ジャニーズ銀座2017』は全席即日完売となり、7~8月は2年ぶりとなる『RENT』がファンからの期待に応えて大盛況となりました。その他、完売公演となった8月の『GACHI ~全力entertainment4U~』等、バラエティに富んだラインナップを提供しました。
- 日生劇場では、4月『紳士のための愛と殺人の手引き』、5月『グレート・ギャツビー』が好成績を収めました。
- EXシアター六本木での5月『あさひなぐ』は映画化（9月22日公開 映像事業部配給）に先駆けた舞台化という試みに挑戦し、当社初の映像と演劇のコラボレーションを実現しました。
- 明治座・博多座での3~4月『細雪』や博多座での8月『レ・ミゼラブル』等の社外公演も高稼働しました。

2018年2月期（通期）の見通し

- 演劇事業では右のStage Line-Upに紹介の数々の話題作をはじめ、社外公演にて東宝演劇を積極的に全国展開してまいります。
- 以上から、演劇事業収入は139億円（前年度比10.8%減）の見込みです。

Stage Line-Up ステージラインナップ

2017年11~12月 帝国劇場公演
「朝陽の中で微笑んで」
松任谷由実の歌と俳優たちの演技が帝国劇場のステージで融合する全く新しいエンターテインメント、『ユーミン×帝劇』の第3弾が3年ぶりに登場!
近未来、人が生命を自在に操れる時代を舞台に、男女の時を超えた愛を描いた感動作。

2017年11月 シアタークリエ公演
「ダディ・ロング・レッグズ ~足ながおじさんより~」
これまでシアタークリエで3度上演され、その度に連日満員を記録したミュージカルが、3年ぶりにクリエに帰ってくる!知的で紳士だが変わり者の若き慈善家・ジャーヴィスと、孤児でありながら溌剌として聡明なジルーシャとの恋の物語に、ぜひご期待ください。

2017年12月 日生劇場公演
「屋根の上のヴァイオリン弾き」
日本初演から50年、今なお愛され続ける感動作が、この冬再び帰ってきます。革命が近づく帝政ロシアの時代、貧しくも愛する家族と幸せに暮らすテヴィエを演じる市村正親をはじめ、不朽の名作を「日本初演50周年記念公演」に相応しい豪華キャストで贈ります。

注目作品

- 2018年4~5月 帝国劇場公演 **「1789 -バスティーユの恋人たち-」**
- 2017年12月 シアタークリエ公演 **「ドッグファイト」**
- 2018年2月 日生劇場公演 **「ブロードウェイと銃弾」**

Real estate Business 不動産事業

≫営業収入（単位：百万円）

■第2四半期連結累計期間 ■期末

	第2四半期連結累計期間	期末
第127期	30,705	62,120
第128期	31,612	61,442
第129期	31,788	

≫営業利益（単位：百万円）

■第2四半期連結累計期間 ■期末

	第2四半期連結累計期間	期末
第127期	7,256	14,789
第128期	9,045	16,830
第129期	8,646	

当第2四半期の取り組みと実績

- 不動産賃貸事業では、本年3月1日に不動産事業の再編を行い、それぞれが展開してきた不動産事業の戦略の一本化や、効率的な事業運営体制を確立することを目指し、子会社であった東宝不動産㈱を吸収合併しました。
全国に所有するビル諸設備等の改修・改善、賃料交渉をすすめるなど積極的な営業活動を推進し、空室率0.2%台で推移いたしました。
- 東宝スタジオでは、『未成年だけどコドモじゃない』『嘘を愛する女』等の当社配給作品を中心に、テレビドラマやCM撮影を含めステージレンタルが順調に稼働いたしました。
- 道路事業では、建設技能者不足や受注競争が激化する中、スバル興業㈱とその連結子会社が積極的な営業活動により、維持作業・補修工事における採算性の高い工種の受注に努めるとともに、原価管理によるコストの削減を図り、業務の効率化による収益性を高め、増益となりました。

TM & © TOHO CO., LTD.

2018年2月期（通期）の見通し

- 不動産賃貸事業では、引き続き積極的な営業活動を行いつつ、長期的な視野に立った設備改修や再開発等を計画し、全国に所有する不動産の有効活用に努めてまいります。
- 東宝スタジオでは、自社配給の劇場映画作品のみならず、CMを含めステージレンタルやポスプロの誘致を積極的に行ってまいります。
- 道路事業ではスバル興業㈱とその連結子会社において、工事の効率化に努め、受注拡大を図ってまいります。
- 不動産保守・管理事業では㈱東宝サービスセンターと東宝ビル管理㈱において厳しい低価格競争の中、コスト削減とともに新規受注拡大に取り組んでまいります。
- 以上から、不動産事業収入は614億円（前年度比0.1%減）の見込みです。

Other Business その他事業

当第2四半期の取り組みと実績&2018年2月期（通期）の見通し

- 娯楽事業及び飲食・物販事業の営業収入は20億5千万円（前年同四半期比336.5%増）となりました。
- 通期では東宝共栄企業㈱、㈱東宝エンタープライズ、TOHOリテール㈱において積極的な営業施策を展開し、来場者の確保に努めてまいります。
- その他事業収入は29億円（前年度比49.0%増）の見込みです。

Topics トピックス

30周年の日比谷シャンテ、開業以来最大規模のリニューアル!

1987年の開業以来、たくさんのお客様に愛されてきた商業施設「日比谷シャンテ」も、今年で30周年を迎えました。この節目に、半年間全3弾に分けて開業以来最大規模となるリニューアルを行います。

10月6日からのリニューアル第1弾では、日比谷シャンテと東京宝塚劇場の間の道路の歩道化を行い、外観が宝石をイメージしたデザインに一新されました。また、1階には新店舗が数多くオープンし、フロア全体が大人の街に相応しい華やかな雰囲気に包まれています。

12月上旬予定の第2弾では地下2階のレストランフロアが全面リニューアルされ、2018年3月下旬予定の第3弾では日比谷シャンテ全体のリニューアルが完成し、メインエントランス、日比谷シャンテ前の「合歓の広場」が姿を変えるほか、地下2階が東京メトロ日比谷駅と接続されます。

日比谷シャンテは、開業30周年の感謝の気持ちと共に、皆様に喜んでいただける仕掛けをご用意して、これからもお客様をお迎えします。新しく生まれ変わる日比谷シャンテ、進化を続ける日比谷の街に、今後もご期待ください。

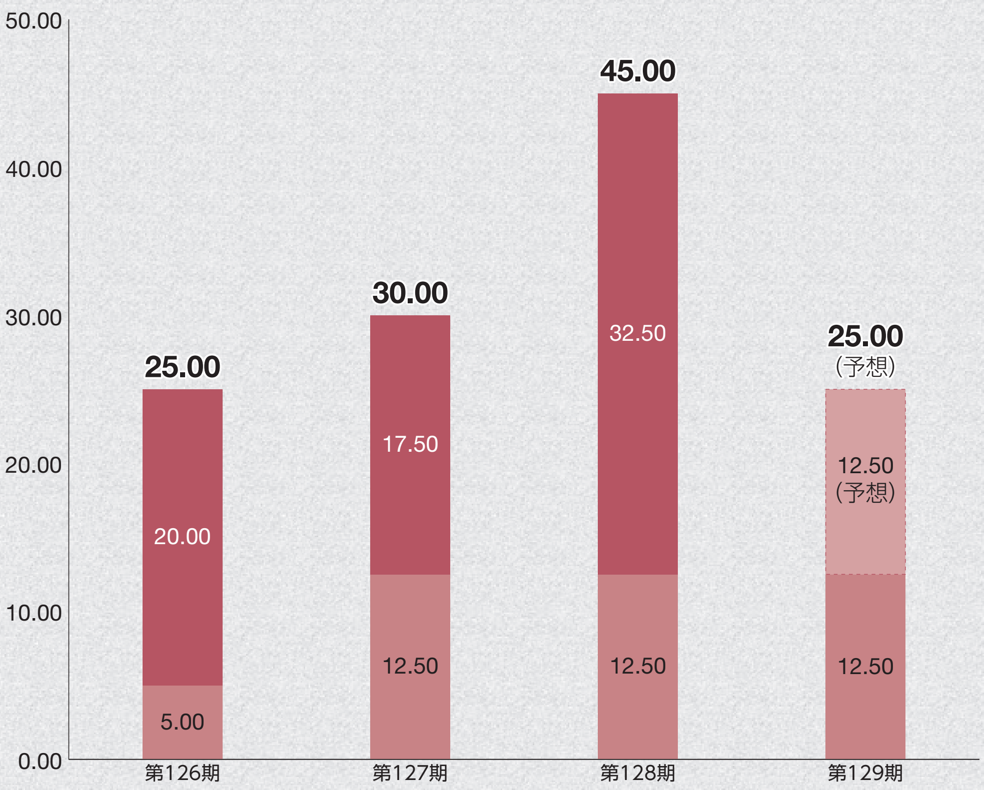
Information 株主様向け情報

配当金について

当社では、年間25円の配当をベースにしながら、業績が予想や目標をさらに上回って推移した場合には、業績連動分として追加の配当を検討していくことを基本方針としております。

中間配当金につきましては、既にご案内のとおり、1株当たり12.5円と決定させていただきました。通期の配当につきましては、中間配当金と合わせまして年間配当計25円を予想いたしております。

■1株当たり配当金（円）■中間 ■期末



株主優待について

株主カード及び株主映画ご招待券交付基準

ご所有株数	株主カード貸与枚数		株主映画ご招待券発行シート数（半年につき）
	ご本人カード	ファミリーカード	
1,000～1,999株	1枚	0枚	1シート
2,000～2,999株			2シート
3,000～4,999株			3シート
5,000～9,999株		1枚	6シート
10,000～19,999株		2枚	10シート
20,000～29,999株		3枚	15シート
30,000～49,999株			20シート
50,000～99,999株			25シート
100,000株以上			30シート

◦株主映画ご招待は、株主カードと株主映画ご招待券を映画館チケット売場等でご提示いただき、双方に記載された優待番号が一致したとき、ご利用いただけます。

◦株主カードの発行は、原則として初回のみ、5月下旬または11月中旬となります。

◦1シートは、**指定2ヶ月間通用券**×6枚となります。
2月末日現在の株主に5月下旬に発行：**6･7月、8･9月、10･11月通用**各2枚。
8月末日現在の株主に11月中旬に発行：**12･1月、2･3月、4･5月通用**各2枚。

株主映画ご優待券交付基準（800円で映画をご覧いただけます）

100～499株	半年 2枚	500～999株	半年 8枚

2月末日現在の株主に6月から11月まで半年間通用の券を5月下旬に発行。
8月末日現在の株主に12月から翌年5月まで半年間通用の券を11月中旬に発行。

株主優待制度についての詳細は、当社ホームページ「会社情報」「株主優待」をご覧ください。

Corporate Data 会社情報

≫会社概要（平成29年8月31日現在）

会社名	東宝株式会社
設立	昭和7年8月12日
資本金	10,355,847,788円
従業員数	380名ただし、嘱託13名、出向受入者44名を含み、出向者151名を含みません。
本社	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

≫役員（平成29年10月1日現在）

取締役（監査等委員である取締役を除く）

代表取締役社長	島谷　能成
代表取締役副社長	千田　諭
専務取締役	太古　伸幸
常務取締役	浦井　敏之
常務取締役	市川　南
取締役	石塚　泰
取締役	山下　誠
取締役	瀬田　一彦
取締役	池田　篤郎
取締役	大田　圭二
取締役	松岡　宏泰
取締役	池田　隆之
取締役	枇榔　浩史

監査等委員である取締役

取締役	沖本　友保
取締役	島田　達也
社外取締役	角　和夫
社外取締役	小林　節
社外取締役	安藤　知史

≫株式の状況（平成29年8月31日現在）

発行可能株式総数……400,000,000株
発行済株式の総数……188,990,633株
（自己株式 8,236,924株を含む）
株主数……23,255名
（前期末比2,801名減）

大株主【上位10名】

株主名	当社への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（%）
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	12.61
阪急不動産株式会社	15,150	8.38
エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	13,664	7.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	6,448	3.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	5,129	2.83
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.73
株式会社TBSテレビ	4,521	2.50
株式会社竹中工務店	3,785	2.09
株式会社丸井グループ	2,578	1.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	2,385	1.32

（注）持株比率は、自己株式8,236,924株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
定時株主総会	5月
配当金受領株主確定日	期末配当金・・・・・・・・・・・2月末日 中間配当金・・・・・・・・・・・8月31日
基準日	定時株主総会　2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定める。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1　電話 0120-232-711（通話料無料）
郵送先	〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
公告掲載URL	http://www.toho.co.jp/toho_ir/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。

東宝株式会社
〒100-8415 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
総務部　電話(03)3591-1214
http://www.toho.co.jp/

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。